

## 令和6年度 第6回 光風荘運営推進会議 議事録

《日 時》 令和7年3月19日（水）午後6時より

《場 所》 高齢者グループホーム光風荘 3階「えんがわ」

《出席者》 委 員：地域代表、家族会代表…計2名

市 職 員 等：高齢者支援課職員、地域包括支援センター職員、  
在宅介護支援センター職員…3名

運 営 側：理事長、光風荘施設長、介護職員…計3名

《議 題》

### 1. 報告事項

（1）入居者、職員の異動について

（2）前回会議以降の活動状況について

### 2. 行政等からの情報提供

### 3. その他

## ■挨拶

「運営」：本日は年度末の大変お忙しい中お集まりいただきありがとうございます。雪が降るなど天候が悪いのでお体にお気を付けください。本日も、貴重なご意見をいただき、施設運営に役立てていきたいのでよろしくお願いします。

## ■会議概要

※ 文中の「委員」は運営推進委員、「運営」は運営側、「市等」は市職員等、「GH」はグループホーム、「特養」は特別養護老人ホームの略。

### 1. 報告事項

#### （1）入居者、職員の異動について

##### ○入居者

- ・3月14日：2階男性入居者 入院中、ADLの改善見込みなしとの事で、退居
- ・申込者数は11名、内判定会議通過済みの方は3名。その他、申込予定の希望者2名。
- ・現入居者様の全体平均介護度は2.88。平均年齢は90.9歳。平均入居期間は約4年となっている。

##### ○職員

- ・1月29日：1階 女性非常勤介護職員 退職
- ・ハローワーク求人票の見直し、求職者の見学受付、元職員からの紹介等により、人員確保を目指している。

## (2) 前回会議以降の活動状況について

日時	行事名	参加人数	内容
2月1日	節分	入居者全員 職員7名	両フロア合同で、屋上で豆まきを行った。昼食には両フロアとも太巻きを、おやつには1階は甘納豆、2階はどら焼きを用意した。
3月3日	ひなまつり	入居者全員 職員8名	1階は昼食にはま寿司の海鮮丼を、2階は手作りのちらし寿司を、おやつには両フロアとも桜餅を用意。 午後に、1階は写真撮影や歌の会を、2階は双六ゲームと写真撮影を行った。

### ○市内グループホーム連絡会について

2月10日、たのしい家武蔵境様にて、第4回グループホーム連絡会を開催していただいた。施設内の見学その他、武蔵野市地域包括ケア人材育成センターの方にもご参加いただき、人材確保に関する意見交換や、今後開催を予定している相談会等の情報を提供いただいた。

### ○第五小学校 校舎お別れイベントについて

第五小学校の校舎建て替えに伴う、イベント開催のお便りをいただいた。見学させていただく予定であったが、お連れする予定であった入居者様は別の予定が入ってしまい、別にお連れした入居者様は校門に辿り着いた段階で息が上がってしまい断念。最終的には参加できなかった。

### ○非常用蓄電池について

東京都の助成を受け、法人内3拠点それぞれで非常用蓄電池を購入。発電機ほどの電力は得られないが、使用用途は限られるが、通信機器等の電力確保に活用できればと考えている。

## 【質疑応答・意見交換】

「委員」：職員は何名不足しているのか。

「運営」：シフトを埋めるという事だけを考えれば、スキマバイトアプリを利用する事で埋める事はできる。スキマバイトに依存しないで、常勤職員が事務仕事等に専念する時間を確保しつつシフトを組むならば、最低2名は必要である。さらに、ユニットリーダーや計画作成担当者をもう一人ずつ確保したい。その他、非常勤職員が2名入職してくれれば、派遣職員に頼らない運営ができると思われる。

「運営」：職員配置は特養でも法人職員のみでシフトを組むことが難しい。スキマバイトを活用して穴埋めをしている。人員配置については、法人全体で検討しているところである。

「運営」：今回、1階の非常勤職員が任用替えて常勤職員になる。4月から正式に常勤職員になるが、すぐにユニットリーダーとしての役割を果たすことは難しい。時間をかけて事務仕事等を教えていくことになる。

## 2. 行政等からの情報提供について

「行政等」：3月21日に集団指導を行う予定である。参加をよろしくお願いします。

### 【質疑応答・意見交換】

「市等」：若年性認知症の方は受け入れた事はあるか。

「運営」：先日申し込みがあった方が、年齢的に該当している様である。過去にも極少人数ではあるが、入居されていた。

「市等」：グループホームで若年性認知症の方を受け入れる施設は少ない。施設によっては 65 歳以上の方を対象とするところがあると聞いたので質問した。

「運営」：かつて若年性認知症の方の入居の相談を受けたことがある。その話は進まなかったが、高齢者の集まりの中でなじめるかという懸念があった。年齢的には入居者よりも職員に近い立場であり、調理等を職員に近いポジションで担っていただければ、馴染んでいけるのではと考えている。

「市等」：私は地域で暮らす若年性認知症の方の支援をしている。情報を共有していきたい。

「市等」：若年性認知症の方の数は確実に増えている。今後、困ったことがあれば支援していきたい。若年性認知症の方には、介護保険の第 2 号被保険者として認定を受けている方、そうでない方がいる。施設に入居申し込みをしている間に進行してしまうケースも多い。

### 3. その他

- ・ 次回の運営推進会議は 5 月 21 日（水）18 時を予定している。